



NO. 758  
 発行  
 12・6月21日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 関川 和彦  
 編集責任者  
 教 宣 部



# 帝京長岡・和解成立までの経過

帝京長岡高等学校職員労働組合は、平成19年3月から、学校側の不当労働行為に対して、県労委と中労委で闘争してきましたが、平成23年12月16日に和解が成立しました。ありがとうございました。

**本格的な動きは**～和解への本格的な動きは、昨年3月の新井書記長の審問の後から始まりました。中央労働委員会からの強い勧めで、平成23年5月に組合側と学園側の代表者同士での話し合いが新潟県労働委員会で行われました。そこで、中労委立会いの下、校内で話し合うためのルールが作られ、そのルールに則り2回ほど校内で労使の代表者同士の話し合いが行われました。しかし、この話し合いの実態は労使対等とは言えないもので、全くまとまらずこの時点で一度和解を断念しました。

7月に最終意見陳述が行われ、ようやく命令日が決まると思われましたが、またも中労委から和解の提案があり、今度は弁護士同士の協議により和解を目指すことになりました。その後、12月までに7回も中労委で弁護士同士の協議が行われました。それと並行して、何度も組合内で話し合いを持ちました。当初、組合員の中には、闘争前に学内で行っていた組合活動のイメージがあり、それを完全に回復できないことから和解に否定的な意見もありました。

しかし、組合全員で話し合い、その結果を弁護士に伝え交渉してもらうことを何度も繰り返すうちに、和解案もだいたい組合の意見を入れることができ、さらに提訴以前と比べても良い条件になる部分もできたこと、また、たとえこのまま闘い、命令や数年後裁判の判決が出たとしても、学園は一筋縄ではないので、闘わなければならないことから、いま和解し学内で活発に組合活動をしつつ学内で闘っていくことが得策であろうという考えに至り、和解に応じることにしました。そして平成24年12月16日に和解が成立しました。和解内容は、口外できないという条件がついていますが、組合員への処分撤回や、効果査定にまで踏み込んだもので満足のいくものになりました。

**和解後の状況**～この和解により、1月に校内の印刷室に組合掲示板が設置されたり、校内の会議室で組合集会を開くことができるようになり毎週執行委員会を第一会議室で行っています。さらに、平成24年2月には6年4ヶ月ぶりに校内で団体交渉を行い、いくつもの成果を得ることができました。

「帝京長岡の教育を良くする市民の会ニュース」6月19日発行から



# 消費税の大増税にストップ

能力に応じた負担を～7.5兆円～10.5兆円

証券優遇税制の廃止、所得税・住民税の引き上げ、大企業減税5%を元に戻す。

ムダつかいをただす～3.5兆円

大型公共事業、原発推進予算、軍事費、政党助成金など大幅削減や廃止。

消費税増税なしで、財政再建

大企業の内部留保は260兆円を日本経済に還流させるなど、国民の所得を増やし、経済を内需主導で健全な成長の軌道にのせる改革を同時におこなえば、日本の経済と財政を健全な状態に戻す。

## 編集後記

6月も中旬に、もう台風は発生し各地で大雨が降り、被害が発生しています。昔、台風は9月頃から発生するのが普通でしたが、最近地球温暖化の影響で、今頃から、のきなみ台風が発生します。JR東日本の検修の全面外注化について具体的に地方でも動き出しました。次号は検修外注化について特集します。

# 原発ゼロへ!

## にいがた県民大集会



日時 2012  
**7月8日**

11時30分～14時30分

- 11:30 交流テント、各種出店
- 13:00 メイン集会
- 14:30 パレード出発

**場所**

**新潟県スポーツ公園  
多目的運動広場南エリア**  
(東北電力ビッグスワンスタジアム脇)

**よびかけ人**

- |                          |                          |                          |                          |                          |                          |                           |                          |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|--------------------------|
| 関根征士<br>新潟大学名誉教授         | 杉みき子<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 坂本典子<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 小菅正治<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 桑山史子<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 菅野正志<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 五十嵐修<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭  | 足立定夫<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 |
| 矢引光明<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 諸橋潔<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭  | 三谷直美<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 野中昌法<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 中村啓識<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 谷本盛光<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 高畑興四夫<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 | 高島詠子<br>新潟県立中央高等学校<br>教諭 |

連絡先 **実行委員会事務局** (原発をなくす新潟県連絡会)  
〒951-8124 新潟市中央区医学町通り1-45 第2関本ビル2F  
TEL 025-225-0322 FAX 025-225-5260